

様式 4

令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立八頭高等学校
校長 加賀田 剛

評 価 日	令和 3 年 1 月 2 9 日 (金)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>○授業参観で生徒の様子を見たが、みな集中して取り組んでいた。このような姿勢が自己評価表の「ルールやマナーを守るよう心掛けている生徒の割合」98%という高い数値目標に表れていると思われる。</p> <p>○「Bridge」などの新しい取組で、生徒自身が学校の魅力化に向けて取り組んでいるのが良いと思う。今後も継続することを望む。</p> <p>○特別支援教育について生徒一人ひとりの特性に配慮しながら取り組んでいくことを望む。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>○特になし</p> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>○学校独自事業などを活用していろいろな行事に取り組んでおられるが、来年度以降の探究活動の充実に向けどのような工夫を考えているか。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <p>○ふるさとキャリア教育の充実を図る意味でも、探究活動を通して地元への愛着心を育て、将来地元に戻ってくる人材育成につながることを望む。</p>	<p>○一層徹底できるよう努力したい。</p> <p>○来年度以降改善を加えながら継続していきたい。</p> <p>○必要に応じてケース会議を開催し、教育相談係を中心として、担当学年などと情報共有を図りながら組織的に取り組んでいるところである。</p> <p>○探究活動については、大学、地元企業等と連携し充実させていきたい。</p> <p>○「翠陵探究」は「八頭町で学んだことを生徒が将来どう活かすか」に重点を置きながら実施したい。この活動を是非とも充実させていきたい。</p>	